

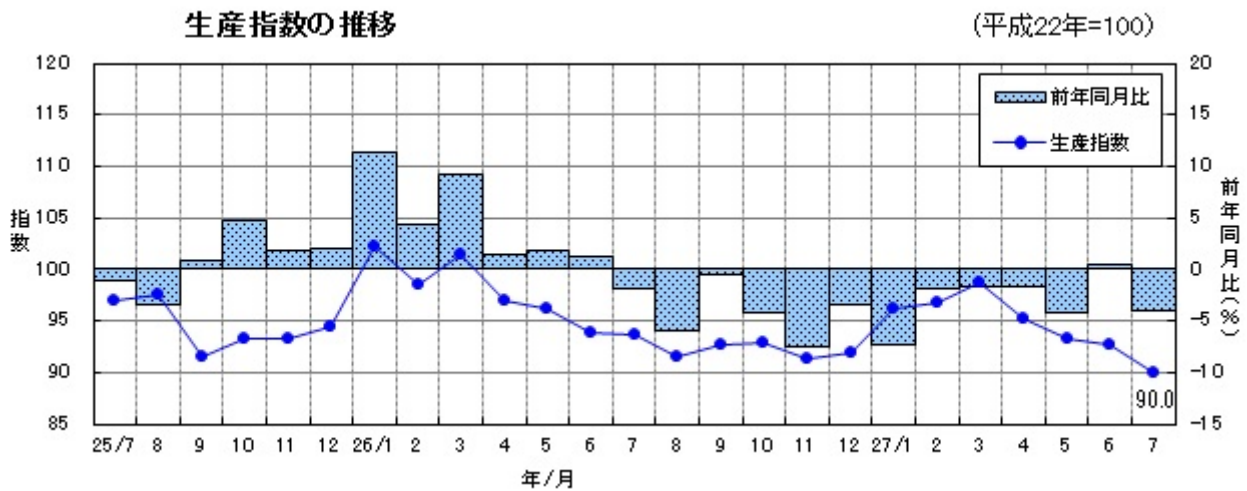
生産の前月比は4か月連続して低下 (静岡県鉱工業指数 平成27年7月分速報)

1 生産指数の動き

平成27年7月の鉱工業生産指数（季節調整済：平成22年=100）は**90.0**となり、**前月比は2.9%減と4か月連続して低下した。**

また、**前年同月比（原指数）は3.9%減と2か月ぶりに前年を下回った。**

業種別の前月比（季節調整済指数）では、化学、プラスチック製品、その他製品等が上昇する一方、輸送機械、はん用・生産用・業務用機械、電気機械等が低下した。

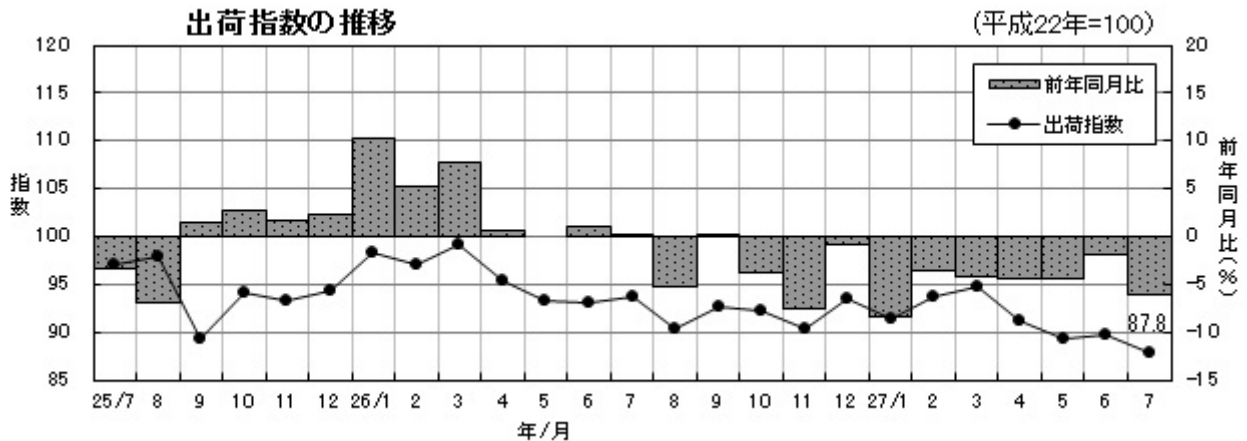


2 出荷指数の動き

平成27年7月の鉱工業出荷指数（季節調整済：平成22年=100）は**87.8**となり、**前月比は2.2%減と2か月ぶりに低下した。**

また、**前年同月比（原指数）は6.2%減と10か月連続して前年を下回った。**

業種別の前月比（季節調整済指数）では、窯業・土石製品、はん用・生産用・業務用機械、パルプ・紙・紙加工品等が上昇する一方、輸送機械、食料品・たばこ、化学等が低下した。

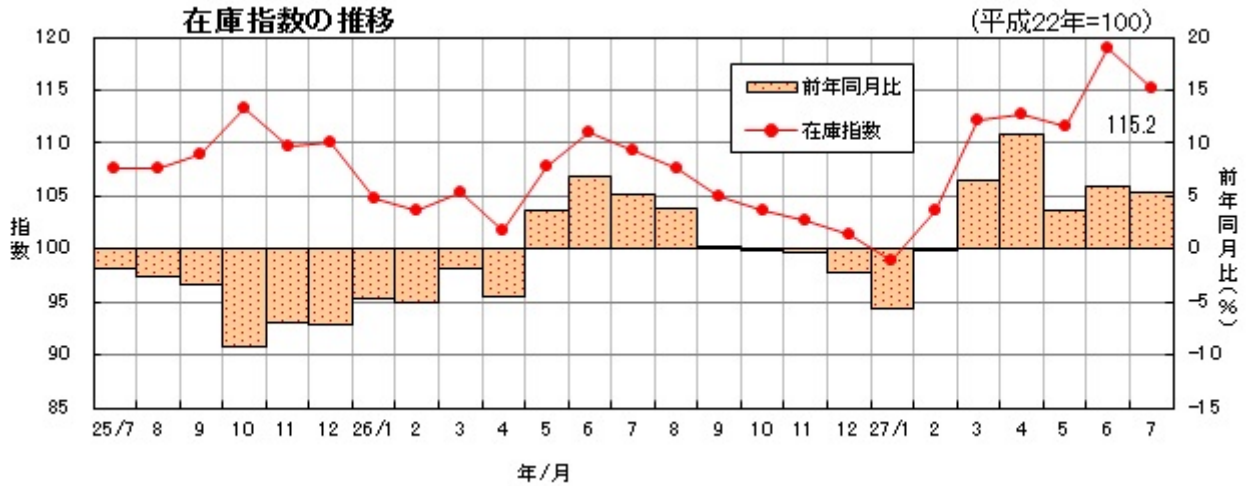


3 在庫指数の動き

平成 27 年 7 月の鉱工業在庫指数（季節調整済：平成 22 年=100）は **115.2** となり、前月比は **3.1%減**と 2 か月ぶりに低下した。

また、前年同月比（原指数）は **5.3%増**と 5 か月連続して前年を上回った。

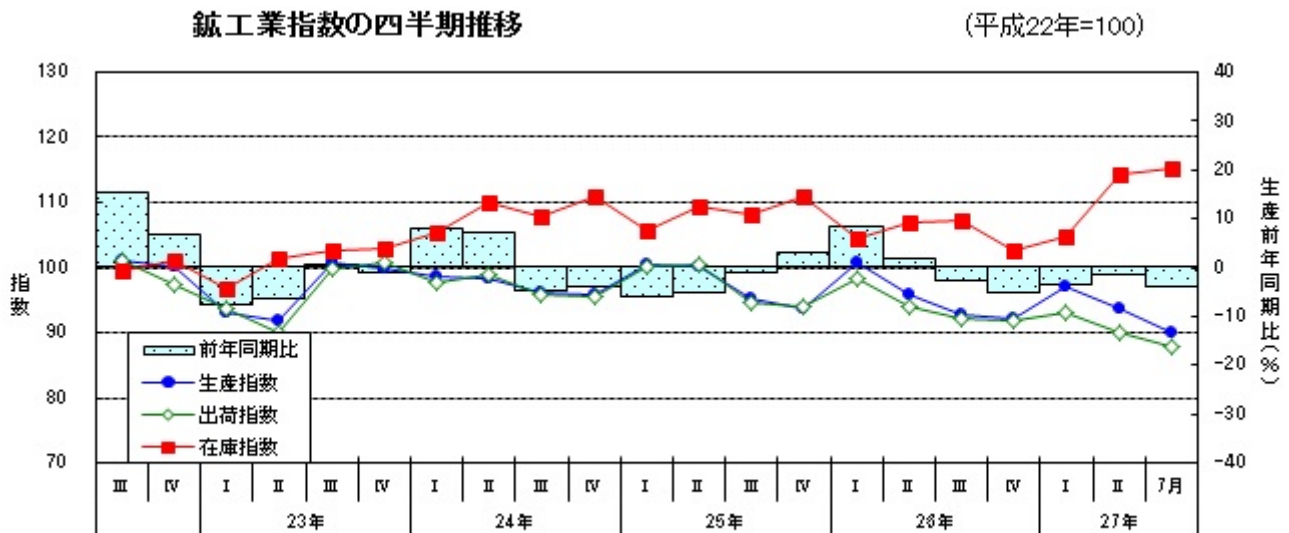
業種別の前月比（季節調整済指数）では、輸送機械、その他製品、繊維等が上昇する一方、窯業・土石製品、化学、食料品・たばこ等が低下した。

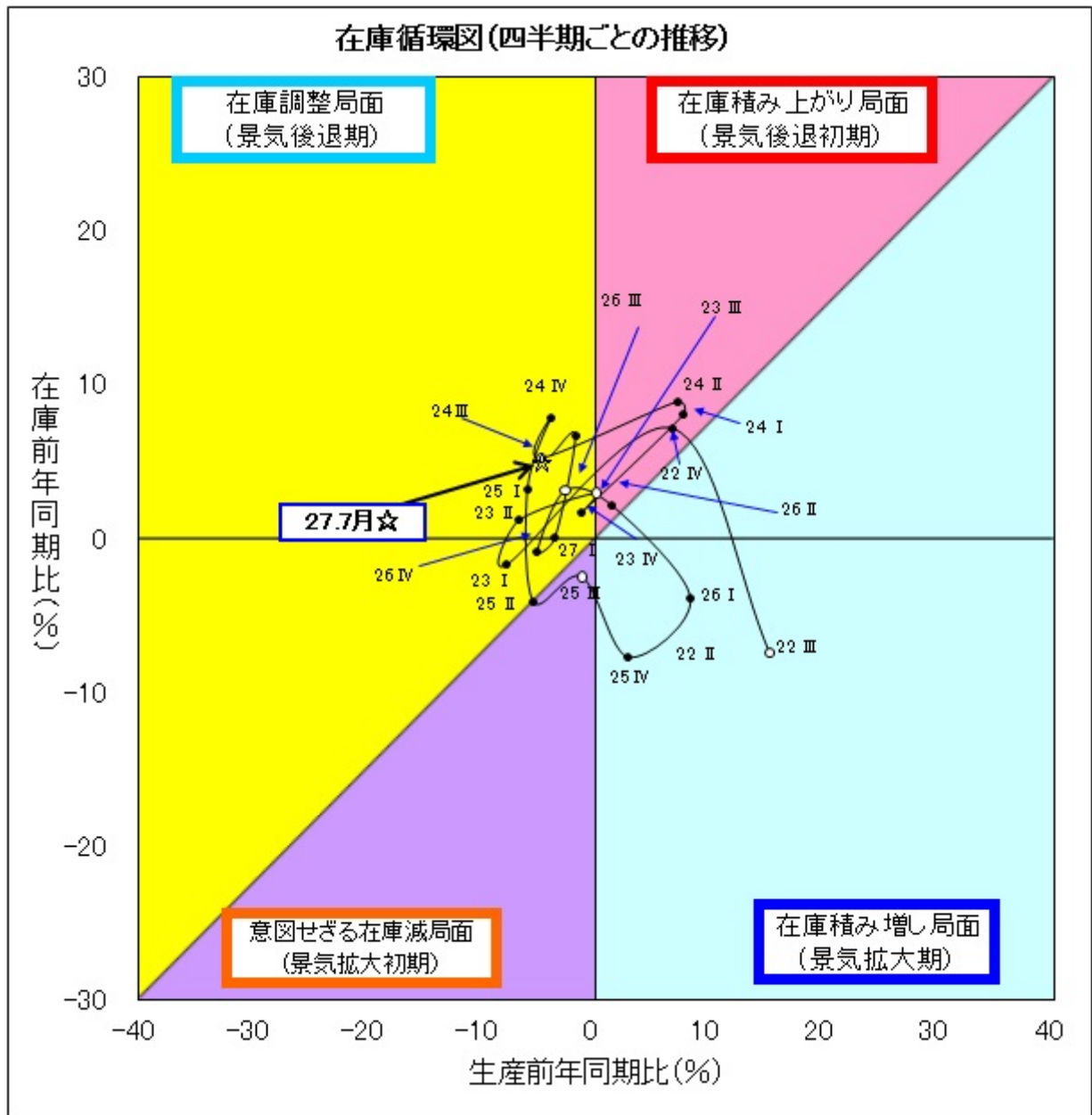


4 その他

平成 26 年分について年間補正を行ったことから、過去の公表値を一部修正した。

<参考1> 四半期推移及び在庫循環図





- ・ **在庫積み増し局面 (景気拡大期)**
需要が供給より多くなると、生産を拡大し、在庫を積み増して需要に対処する。
- ・ **在庫積み上がり局面 (景気後退初期)**
供給が需要より多くなってくると、生産の伸びが鈍化し、在庫が適正水準を超え、在庫の積み上がりが起こる。
- ☆ **在庫調整局面 (景気後退期) ← 今季はここに該当**
適正水準を超えた在庫を減らすため、生産を抑え、在庫調整を図る。
- ・ **意図せざる在庫減局面 (景気拡大初期)**
需要の増加に生産が追いつかず、在庫が減少する。